みんなのページ

身の回りの出来事などを500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。

あて先は（〒950―1292　白根市大字白根1235　白根市企画財政課秘書広報係）です。

六年ぶりの金賞

高井和子（四十七歳・平潟新田）

去る七月三十日、白根第一中学校吹奏楽部の下越大会が、新潟テルサで開催されたときのことです。

当日の朝、娘は「あー、ドキドキするー」と言っていましたが、いざ本番になると、三十五人の部員たちは立派に演奏してくれました。力強く、ダイナミックで説得力のある演奏でした。思わず涙が出てきました。

結果発表の瞬間は、「白…」と聞いただけで歓声が上がり、子どもたちも興奮気味。応援に来ていた保護者たちと涙・涙で健闘をたたえ合いました。先生の一生懸命なご指導、また、正面から本気で子どもたちとぶつかって、総勢七十六人の部員をまとめてくださったことに感謝しています。そして、先輩のために千羽鶴を折ってくれた後輩や、その他大勢の人々のおかげだと感謝しています。

三年間の練習の成果が、この大会で金賞受賞という結果につながりました。そして八月七日県民会館での、県吹奏楽コンクールに出場する切符を手にすることができたのです。本当におめでとう。そしてご苦労さま。感動をありがとう。

わたしの生きる喜び

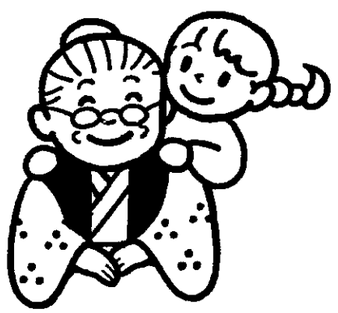
小柳ノイ（九十二歳・中大郷）

わたしの娘は新潟に嫁いでいます。お盆のとき家に帰ってきて、「おばあちゃん、元気らかね」と言い、「元気そうだね、顔色もいいし。ご飯もおいしい？　その分だと百歳まで大丈夫だね」と、わたしを元気付けてくれました。

その日娘は、わたしの好きな魚を買ってきてくれました。そして、娘たちが小さかったころの昔話に花を咲かせているうちに、あっという間に一日が過ぎました。「おばあちゃん、時間だからもう帰るね。家で家族も待ってるから。いろいろとありがとうね」と娘は言い、帰っていきました。寂しいですが、そのとき思いました。いくらわが子とはいえ家庭を持つ身、仕方のないことです。

そうなると、今住んでいる家族は一生みんなで暮らしていけるので、一番大切に思います。どんなことがあってもお互いに我慢し、助け合い、仲良く暮らしていけます。家族は福の神様です。残りの人生を、喜びと感謝の心を忘れないように過ごしていきたいと思っています。

おかげさまで、わたしも今年九十二歳になりました。



わたしのハムちゃん

平田亜衣奈（九歳・上赤渋）

わたしはハムスターを二ひきかっています。一ぴきはいもうとのです。わたしのハムちゃんの名前はミントです。わたしのハムちゃんはデブです。

なつは、あついから、いつもトイレのすきまでねていました。かっしゃのところでもねていました。わたしはハムちゃんのかわいいところをみました。それは、あくびをしているところです。とってもかわいかったです。

市民文芸

俳句

目の光る秋刀魚の並ぶ露店市　本間しげ子
日溜りの水に寄りくる秋の蜂　堀内ナナ子
椋鳥の呼び交はしつゝ柿を食ふ　安澤飛浪
秋風の吹きくる方に影法師　相田照子
素十忌や越乃寒梅供へあり　五十嵐覚吾
木犀の仄かに香る厨窓　五十嵐理恵
風どっと吹いて柿の実現るる　古川綾
夫とゐて話すことなし秋の風　笠原里津
樋溢る雨音聞きて夜の長き　木村トリ
稽田にぴょんと降り立つ大烏　細貝溪子
日曜の雨の一日秋桜　小林光子
秋風におしゃれ心のよみがへる　和泉仲子
雨降ってぞっくり出し貝割菜　小林すみ
濁酒酌みて旧交温むる　公條雪夫
秋天の雲淡づるや百面相　山田栄一
まばらなる紅葉の村の茶屋一軒　松下聡
鍬先へ猫のすり寄る秋の風　小林なお
いじけてる身の置きどころ烏瓜　田中美根子
書く外は言葉になりぬ月の夜　登石詩子
黄落期掃けば結界木がさみし　真嶋つぎえ
サルビアの赤に真向ふ老後かな　小林富沙子
みちのくの宿で銀杏茶碗むし　知野信一郎
虫鳴くやカバンに探す旅日記　小林里代子
昼ちちろ古刹にいまも厠下駄　丸山虚秋
すべて散り墨絵のごとき山河かな　渡辺勤
渋柿をむきつつおばば口達者　川村まさし

短歌

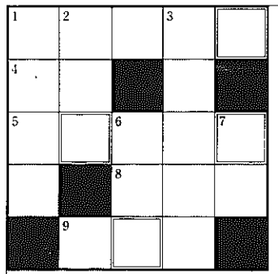
今年こそ止めんと思いしピーマンを植えしが多き実を結びたり　星ハツノ
来春を思い浮かべてさまざまの花種を蒔き心がはずむ　大籏イツ
耕せる土より出づる虫おりて鵜鴒一羽我を離れず　関悦子
吾が焼きし花瓶に水引草を活く夏の終りの近き夕べに　田中恭子
大いなる神のみ愛にひかるるもわが足もとのおぼつかなさよ　出来島ミサホ
危ない!!頓狂な我が寝言に目醒めたり動けぬ病妻が立ち上がりたり　小出熊四郎
菊かおる遠出の計画かさのまう文化の朝の好天かな　品田三郎

川柳

感謝状祝うお酒が矢継ぎ早　山岡フミ
下積みの苦労は言わぬ丸い石　吉川彰
東海道五十次まで来た夫婦　今井七郎
古傷にふれると冬の音がする　織田セツ
もう一度咲かせてみたい冬桜　佐藤ヨキ
八十路坂この先神の意のままに　田村恒夫
人の世は持ちつ持たれて生きる娑婆　田中弘子
北風に稲架木が唄う冬の唄　河内勝哉
白鳥の故里は南と北に在る　中村尚治
原点に立つと見えくる道標　西条ムラ
職探し釣瓶落としの重い靴　大谷龍吉
故郷に父母の墓あり童唄　今井八重子

広報クイズ

図書券が当たる!



◆ヨコのカギ
①核反応を利用した兵器
④さつま○○、○○焼酎
⑤アリと○○○○○
⑧安心⇔
⑨寝るとき使う寝具

◆タテのカギ
①一日も欠かさず出勤すること
②雲が空を覆っている天気
③イタリア風の、○○○○○レストラン
⑥贈り物
⑦1尺の10分の1の長さ

□の字を並べてください。
もうじきクリスマスです

はがきに答え（完成図は不要です）、住所、氏名、年齢、市や広報紙への意見（市から回答が必要な場合は、その旨）を書いて、12月17日(火)必着で白根市企画財政課秘書広報係（〒950―1292白根市大字白根1235）へお送りください。

※Eメールでも OK。

正解者の中から抽選で3人に500円の図書券、5人に粗品を差し上げます。正解者の発表は1月合併号で行います。

11月1日号の正解はセンベイ。正解者は31人でした ▼図書券　山田一郎（臼井）、中田秋江（下鵞ノ木2）、澤田光（沖新保） ▼粗品　田巻千草（上浦）、滝沢克志（館）、栗田湖有（下茨）、菊池政男（魚町4）、渡辺孝見（大通南2）

※敬称略

子育てがんばってますか

広がれ健康家族

(133) 保健福祉課 ☎内235

イライラの悪循環

「つい怒鳴る」「カッとなってたたく」。その後罪悪感に襲われ、「明日は絶対こんなことしない」と子どもの寝顔に誓います。でも、次の日また…。

こんな経験はありませんか。これがイライラの悪循環です。これにストップをかけ、自信を持って子育てをするには、どうしたらよいのでしょう。

「反抗的」は成長の証

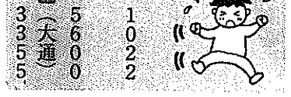
一～三歳は、目覚ましく成長する時期。身体的な発達に伴って行動範囲も広がります。自立心が芽生え、見るもの、触るもの、何にでも好奇心旺盛。これに対し、親は「ダメ」と行動を制限することもあるので、子どもはさらに、この限界に挑戦しようとします。こんなとき、親が「言うことを聞かない子」「反抗的な子」と思ってしまうと、子どもに腹が立ってくるものです。その上泣きやまなかったり、かんしゃくを起こしたりすると、一層怒りの衝動を子どもに向けてしまいがちです。

しかし、子どもの葛藤や反抗的な行動は、乗り越えなければならない成長課題の一つです。まず、子どもの心の発達・状態を理解しましょう。親にとって困った行動でも、子どもにとっては理由があるはず。大人の判断基準のみでなく、子どもの目線でも考えてみませんか。少し気持ちがおおらかになり、子どもを見守ることができるかもしれません。

SOSを発信しましょう

もし怒りが爆発しそうになったら、子どもとの間に少し距離を置いてみては？　感情的な距離を置くのは難しくても、イライラしたときに、気持ちが落ち着くまで隣の部屋に移ってみるなど、自分なりに工夫してみましょう。時には子どもから離れ、ゆっくり休める時間をつくることも必要かもしれませんね。子育てにはエネルギーも必要。親や近所の友達、保育サービスなどからも上手に助けを借りましょう。

市内子育て支援センターでは、子育ての悩みなどを一緒に考え、応援します。ぜひご利用ください。



❀中央保育園（南新町）☎372・1022
❀あかね保育園（鯵潟）☎372・5600
❀カテリュスいぶき保育園（大通）☎362・3355